

今月のことば

遊びたい時
遊びたい時
食べた時
食べた時
寝たい時
寝たい時
寝る
これって
自由？

(小池秀章)

龍谷大学非常勤講師

小池秀章

こいけひであき

小学生の時、感想文の宿題が出ました。何の本の感想文を書いたかは思い出せないのですが、その感想文の内容について、担任の先生と次のようなやりとりをしたことを、今でも覚えています。私が感想文の中で、「自由に生きたい」と書いていたことについて、先生から、「君の言う自由とは何？」と質問されました。それに対して、「遊びたい時、遊んで、食べたい時、食べて、寝たい時、寝る。それが自由です。」と答えました。すると、先生は「本当にそれが自由か？」と重ねて質問してきました。私は一瞬つまりました。が、「はい、これが自由だと思います。」と答えました。その私の答えに対して、先生が何と言われたかは記憶にありませんが、このやりとりは、ずっと私の心の中に残っています。

仏教に出遇った今、改めて考えてみると、私が考えていた「遊びたい時、遊び、食べたい時、食べ、寝たい時、寝る。」というのは、全く自由ではありません。煩惱に縛られ、煩惱に振り回されている、とても不自由な状態だと言わねばならないでしょう。

その煩惱の束縛から離れる道を説くのが、仏教です。ただし、煩惱から離れられず、悩まれたのが親鸞聖人なのです。親鸞聖人は、煩惱から離れられない私たちが、煩惱があるままで煩惱を超えていく道を、明らかにしてくださいました。それは、「仏さまのはたらき（み教え）に導かれながら生きていく道」だと言っているでしょう。

合掌